



名古屋第一赤十字病院

日本赤十字社

地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院
救命救急センター・総合周産期母子医療センター
地域中核災害医療センター
造血幹細胞移植推進拠点病院



日赤なごや

Vol. 72
Spring 2021

● **Medical Frontier**
第三循環器内科 部長 嶋野 祐之 医師

ご存知ですか？

- 患者さんの暮らしを支える
地域医療連携システム
- **リハビリ見聞録!**
運動を始めるにあたって

● **Professional Style**
中村 剛士さん



Professional Style

プロフェッショナル
スタイル

Vol.72

表紙のひと
初療室
家族支援専門看護師
なかむら つよし
中村 剛士さん



突然の病気やけがは患者さんのご家族にも大きな影響を及ぼします。

ご家族を支えることが、患者さんの回復を早めることにつながります。

当院の救命救急センターには、年間約8,000件の救急搬送があり、心不全や心肺停止、呼吸不全、脳血管障害、など、緊急かつ重症度の高い患者さんを24時間365日受け入れています。

初療室は、救急の患者さんを真っ先にお引き受けする所です。命をつなぐ場所なので、何よりも患者さんの治療が優先されます。その間ご家族は扉の向こうで今何が起きているのか、患者さんの容態はどうか、把握できないまま不安を募らせ待つことになります。

私は主に初療室のコーディネーターをしていますので、そういう時はいち早くご家族のもとに伺って、患者さんの様子をお伝えするようにしています。そして、患者さんにご家族が速やかに面会できるように調整を図ります。

また、ご家族に、患者さんの普段の暮らしや家族関係などをお聞きして、入院中および退院後のサポートをどの

くらい得られそうかを確認します。

さらに、重症患者さんほど家族の存在が必要なことや、治療は今この段階で今後こんなことをする予定です、とか。あるいは一週間後、一か月後、一年後にはどんな経過をたどるのかなど。あくまでも看護の視点から、未来の設計図のようなものをご説明しています。

家族の関係を俯瞰で見ると支援が必要かどうかが見えてきます。

「家族」には、本来、自分たちで問題解決できる能力が備わっています。

例えば、子どもが熱を出したら、保護者の方は仕事を休み、病院に連れて行きます。処方された薬を飲ませ、ご自宅で様子を見ます。この対処を自発的にできるご家族は、たとえ何か問題が起きても家庭内で解決できます。

ところが、それをできないご家族も少なくありません。現状を理解できず、パニック状態になってしまうとか、家族間のコミュニケーションが少なく、一人

一人があさっての方向を向いているなど。このような家族には私たちの支援が必要と判断し、アセスメント*を立てて積極的に介入していきます。

家族というのはとても強くてもらい組織です。誰か一人が病気になると、家族全体のバランスが崩れ、あっという間にばらばらになっていく。これは、一家の大黒柱が突然入院したと想定すると、イメージしやすいかと思います。

家族支援専門看護師は、ご家族が抱える不安な要素を一つ一つ取り除くお手伝いをしています。患者さんにご家族が病気という厳しい現実と向き合って、一緒に乗り越えていけるように。家族がコミュニケーションを深め、お互いに協力しあえるように。ご家族が主体的にものごとを考え、個々の問題を自ら解決していけるように。私たち家族支援専門看護師は、様々なサポートをしています。

※評価・査定・分析

第1回 連載にあたり

リハビリ 見聞録!

この度「リハビリ見聞録!」と題して、本誌に連載させていただくことになりました。リハビリと一口に言っても多岐にわたります。直接運動したりすることだけがリハビリではありません。日頃から注意して生活していただきたいこと、知識として知っておいていただきたいことなども発信したいと考えております。少しでも皆さんのお役に立てるよう頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。

第1回 運動を始めるにあたって

それでは、今回は「運動を始めるにあたって」ということでお話したいと思います。

運動をするというと、運動習慣のない方は「さあ、頑張るぞ!」と身構えがちですね。意を決して運動を始めると、長続きしない方も多いのではないのでしょうか?運動はまず体を慣らすことから始めましょう。例えば買い物に行く時に近ければ歩くようにする、車の方は自転車にするといったこと、それから少し遠回りをするといったことだけでも運動になります。よく耳にすることですが、エレベーターを使わず階段を

使うのもいいですね。「うちは何階だから階段なんて…」と言われる方もみえますが、1階分だけでも構いません。お勤めなどされていて時間のない方ほど、日常生活の中で工夫してみてください。

週1回の運動でも、力を維持する程度のことかもしれませんが、幾分かの効果はあります。言うまでもありませんが、何もなければ加齢とともに自然と力は落ちていきます。少しずつ体を動かして、それが習慣になるといいですね。毎日にこだわると1日できなかつただけで挫折しやすくなりますので、週2~3回の運動を長く続けられるようにしましょう。

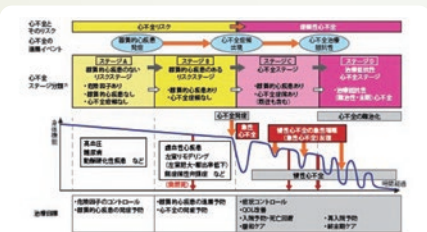
患者さん一人一人の「意思」を 治療の軸とする、地域包括ケアに 取り組んでいます。

高齢化にともなって 心不全の患者さんが増えています。

心臓の働きが悪く、全身に血液を十分に送り出せなくなる状態を心不全と呼びます。がんと同様、気づかぬうちに進行し、私たちの寿命を縮めます。

心不全は、動悸や息切れなどの症状が出ると、胃がんのステージⅢと同じくらいの予後^{*1}とされています。

がんと同様に、心不全も突発的に悪化する恐れがあります。しかし、緩やかな坂道を下るように進行していくがんに比べ、心不全は山あり谷ありを繰り返しながらの下り坂という違いがあります。



良い時と悪い時とを繰り返しながら、緩やかに進行し気力と体力を奪います。

早期に適切な治療を行えば良い状態を維持することができますが、心不全は完治することが少ないため、生涯を通して病気と上手につきあっていく必要があります。

専門的な治療は当院へ、 全人的な医療^{*2}はかかりつけ医に。

急性期病院である当院は24時間体制で患者さんの治療にあたっています。来院の時点で深刻な症状の患者さんが多いため、入院点滴酸素加療や補助循環装置を用いた集中治療、

カテーテル治療、手術など、専門性の高い治療を行います。

心不全の再発を防ぐためには、心臓に負担をかけない生活の管理と継続的な薬の服用が大切です。

このため通常薬物療法のみでの回復の見通しが立つと、当院での診察は、数か月～一年に一度に切り替わります。心不全の薬の処方や定期検査は地域のクリニックでもできるため、この先の通院治療はかかりつけの医院へシフトして、無理なく継続できるよう、患者さんにおすすめしています。

もちろん高度な専門的治療が必要な時は当院へ。かかりつけ医と当院が連携し、患者さんの健康を支え続けます。

万が一の時の希望を医師にどう伝えるか。その方法の一つがACPです。

心不全に限らず、誰もがみんな病気やけがをきっかけに、生命の危険に迫られる可能性もっています。そしてその時、ほとんどの方は痛みや苦しみの中にあり、どんな治療を受けたいか、冷静に伝えることができません。

ACP(アドバンスケアプランニング)は、自分の人生についての考えを事前にまとめておくものです。仕事や家族、生きがいなど、大切にしているものは何か。これ以上の回復が望めない時、延命治療をどうするかなど。「自分はこうありたい」と考える、今の気持ちを具体的な言葉で綴ります。

ACPは、病気をしたその後も「人生を自分らしく生きる」ための自分自身の

手引書です。ご家族や医師、看護師、薬剤師、ケアマネージャーなど、信頼できる方にその存在を伝えておくと、自分にもしもの事態が起こった時に、治療や介護に役立ててもらえます。

病気を治すための医療から、地域みんなで患者さんを支えるケアへ。

超高齢化が進み、住み慣れたまちで、ご自宅で、自分らしい最期を迎えたいとおっしゃる方が増えました。

患者さん一人一人が幸せと思える瞬間を、医療を通してこれからどのように構築していくか。その一つの取り組みが地域包括ケアです。

これは、患者さんを中心に、行政やまちの診療所、大病院、リハビリ施設、介護施設などが同心円状に広がって、手を取り合い、患者さんの人生を支えあう社会のしくみです。病気の治療だけでなく、住まい、予防、介護、生活支援など、様々な機能をネットワーク化しています。

当院も、名古屋西部・海部東部地域包括ケア推進協議会(尾陽包括ケアの会)の一員として、この地域の皆さんの暮らしを支援していきます。



第三循環器内科 部長
日本内科学会総合内科専門医
日本循環器学会循環器専門医
しづきの まさゆき
嶋野 祐之 医師

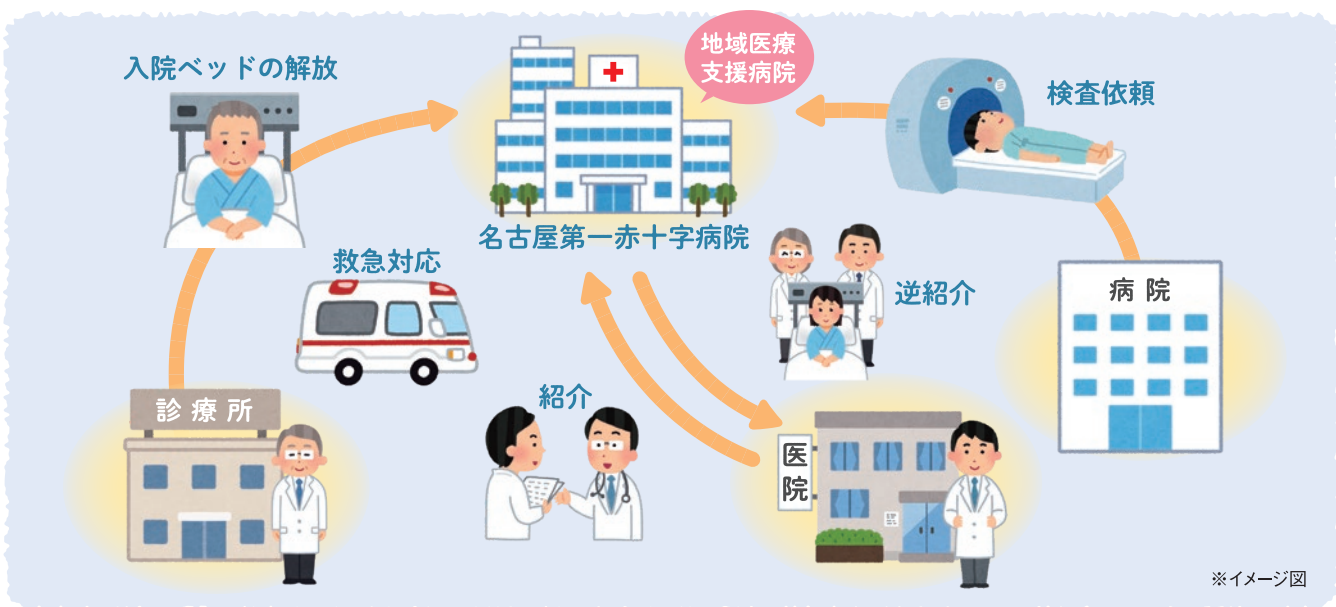
ご存知
ですか？

患者さんの暮らしを支える

地域医療連携システム



当院は「地域医療支援病院」です



地域医療連携システムは、患者さんの病状にあった医療を継続的に提供するための仕組みです。

日常的な診療は、地元の診療所やクリニック等の「かかりつけ医」にお願いし、専門的な治療が必要な患者さんにはかかりつけ医が大きな病院を紹介する流れです。特定の病院に患者さんが集中すると、本当に必要な医療を提供できなくなる恐れがあるためこのシステムが推進されています。

「地域医療支援病院」は、地域の病院・診療所（かかりつけ医）等を後方支援することを目的に創設されました。

今後も引き続き、地域の皆さんが安心して暮らせるように、各医療機関の先生方と緊密な医療連携を図り、患者さんにより一層質の高い、充実した医療をご提供できる環境づくりをめざします。

※令和3年2月現在、愛知県内に28の地域医療支援病院があり、うち11病院は名古屋市内にあります。

「地域医療支援病院」としての取組

- 地域の医師等を対象に各種研修会を開催しています。
- かかりつけ医が患者さんのために当院の医療機器等を予約して、速やかに検査を行う体制を整えています。
- 各種委員会や会議を開催し、地域の医師等など、外部の方との相互連携を図っています。

患者さんの相互ご紹介実績（4月～12月比較）

	令和元年度 A	令和2年度 B	増減 B-A
紹介数 [比率] ※1	18,710 [78.8%]	14,440 [79.8%]	△ 4,270 [1.0%]
逆紹介数 [比率] ※2	18,668 [78.6%]	15,473 [85.5%]	△ 3,195 [6.9%]

※1 地域の診療所等から当院へ

※2 当院から地域の診療所等へ

当院は「完全予約制」です

当院の受診には基本的に「紹介状」が必要です。また、地域医療連携システムを円滑に進めるため、事前予約をお願いしています。(紹介状がない場合は選定療養費が必要です)

予約の方法は2つ

詳細は、当院のホームページをご参照ください。 [HOME](#) > [受診される方](#) > [初診の方](#)

1

かかりつけ医の先生が FAXで申込

※FAXに加えてインターネットでの診療予約を令和3年5月10日(月)から開始する予定です。
(夜間・土日も手続きスムーズ)

2

患者さんご本人が お電話で申込

「外来予約センター」にお電話ください

※かかりつけ医の紹介状(診療科指定)が必要です。

かかりつけ医の先生へ

外来予約センターの概要を記載した「診療電話予約カード」を、ご希望の診療所にお渡ししています。患者さんに当院をご紹介の折、お渡しください。

名古屋第一赤十字病院 診療電話予約カード

【患者さんへのお願い】

下記に電話して診察予約をお取りください。
予約することでお待ちする時間が短くなります。

時間：平日の午後1時～午後5時

電話番号：052-485-1489

連絡先：外来予約センター

※電話がつながりにくい時間帯がありますので、ご了承ください。

名古屋第一赤十字病院 診療電話予約カード

【かかりつけ医の先生へのお願い】

下の□に✓ あるいは診療科名・医師名をご記入の上、診療情報提供書と別に患者さんにお渡しください。

診療科： 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科

産婦人科 整形外科 小児科

科

担当医指定： 特に無し

医師

新型コロナウイルス感染防止対策

患者さんに安心してご来院いただくために、また、かかりつけ医の先生に安心して当院をご紹介いただくために、当院の取組を告知するチラシを作成しました。

地域の診療所(名古屋第一赤十字病院登録医師・登録歯科医師)にも郵送させていただきました。



外来診療担当医表

※担当医は都合により変更になる事がございますのでご了承ください。 2021年4月1日現在

診療科目	月	火	水	木	金	
血液	小澤	西田	AM西田/PM内藤	小澤	森下	
	後藤	AM川口	後藤	AM一木	石際	
	PM石際	PM森下	AM土門	PM武田	PM江口	
	PM大引	PM武田	PM江口/川口	—	PM一木	
内分泌	清田	伊藤	尾崎	尾崎	清田	
	太田	土田	—	土田	今瀧	
腎臓	遠藤	川副	清水	平松	渡邊	
	—	—	—	—	—	
脳神経	新患	本田	三澤	近藤	高阪	福野
	再診	渡邊	高阪	後藤	真野	後藤
循環器	新患	荒尾	平松	黒田	近藤	松井
	再診	神谷	嶋野	神谷	柴田	柴田
●第1.3.5金曜日(午後)専門外来、第2.4金曜日(午後)坂東						
呼吸器	新患	青山	高納	小玉/後藤	横山	稲垣/中瀬
	再診	横山	稲垣	青山	田中	小玉
消化器	PM伊藤	中瀬	PM太田	高納	後藤	—
	土居崎	山口	鷺見	山口	春田	—
	鷺見/PM堀田	鈴木/PM南	春田/PM丸川	上田	土居崎	—
総合診療	—	松久	—	PM榛葉	—	
	—	—	—	—	—	
午前	福見	濱	大城	福見	竹内	
	杉山	西門	秋田	北澤	三井	
	土屋	田中(雅)	羽田野	松本	杉浦	
	加藤	鈴木	荒木	—	水谷	
午後(専門外来)	アレルギー	—	—	石黒	外舩	—
	循環器	三井	—	—	福見	—
	血液	—	濱	PM土居崎	吉田	(交代)
	神経	—	—	竹内	田中(雅)	夏目/(交代)
	腎臓	—	渥美/多代	—	—	—
	新生児発達	浅田	中山	藤城	田中(亮)	大城
	濱崎	間宮	—	—	—	
	予防接種	(交代)	(交代)	—	—	—
	乳児健診	—	—	(交代)	—	(交代)
	小児内分泌	—	—	—	—	西門
アレルギー	石黒	—	—	—	—	
●予防接種・乳児健診は10日前までにご予約下さい。詳しくは受付にお問い合わせください。						
一般消化器外科	宮田	吉岡	湯浅	永井	三宅	
	三宅	柴田	浅井	加藤	永井	
	荒川	杉浦	高橋	池田	今瀧	
	岩瀬	岩瀬	後藤	後藤	岩瀬	
乳腺内分泌外科	照屋/PM(乳腺再診)	森	照屋	松本	乳腺再診	
心臓血管外科	澤木	伊藤(新患)/折居	細羽	—	伊藤(新患)/加藤	
血管外科	—	—	—	—	—	
呼吸器外科	森/福本	森/PM森	森	—	森	
小児外科	村瀬	村瀬	—	村瀬	—	
禁煙外来	毎週火曜日(12時30分~14時30分) 舟橋					
形成外科	林/菱田	—	林	—	菱田	
整形外科	新患	大高	島本	(交代)	黒川	藤田
	井上	山本	八木	洪	井上	—
	洪	石川	(交代)	山本	石川	—
	(交代)	大塚	祖父江	大塚	八木	—
	—	藤田	—	大高	祖父江	—

診療科目	月	火	水	木	金	
脳神経外科	服部	和田	波多野	—	(交代)	
	若林	—	—	(交代)	藤谷	
	—	—	佐藤	—	—	
皮膚科	吉川	吉川	井上	井上	井上	
	竹中	竹中	吉川	竹中	吉川	
	大見	大見	大見	大見	竹中	
泌尿器科	松山	平林/加藤(雅)	佐井/松山	AM石山/PM井上	佐井	
	鈴木	—	石山	加藤(雅)	平林・井上	
腎移植外来	—	PM平林	—	—	—	
女性泌尿器外来	加藤(久)	加藤(久)	—	加藤(久)	(新患)	
	—	鈴木	PM加藤(久)	—	—	
●新患は(木)にご来院ください。						
産婦人科	新患	安藤	廣村	手塚	齋藤	水野
	再診	AM田中/PM(交代)	AM福原/PM水野	坂堂	廣村	AM中村(雅)/PM鈴木
	生殖内分泌・内視鏡	齋藤	安藤	—	安藤	齋藤
	治療外来	—	(交代)	(交代)	(交代)	—
	妊婦診	AM正橋/PM藁田	告野	中村(祐)	手塚	AM正橋/PM藁田
	—	—	PM藁田	—	—	—
バースセンター	—	手塚	—	津田	—	
助産師	助産師	助産師	助産師	助産師	助産師	
眼科	佐藤	—	佐藤	(交代)	佐治木	
	(交代)	—	(交代)	(交代)	(交代)	
耳鼻咽喉科	新患	寺田	鈴木	柘植/神本	村上	伊藤
	再診	柘植	寺田	寺田	柘植	鈴木
	伊藤	神本	鈴木	伊藤	村上	
村上/神本/小島(交代)						
リハビリテーション	八木・大塚	洪	石川	井上	山本	
放射線科	山田	山田	山田	山田	山田	
	岡田	岡田	岡田	岡田	岡田	
●詳細は受付にお問い合わせください。						
歯科口腔外科	新患	大岩	佐藤	(交代)	大岩	(交代)
	再診	佐藤	大岩	—	—	—
	—	長縄	長縄	—	佐藤	—
—	—	早川	—	早川	—	
緩和ケア科	緩和ケア外来		火曜日 PM 湯浅	水曜日 PM 湯浅	—	

外来診療のご案内

- ◆初診 …………… 総合案内で『診療申込票』に必要事項をご記入の上、保険証・(初めて受診される方) 紹介状・各種医療証書を添えて、新患受付にお出ください。
- ◆診療受付時間 …… 午前8時20分~午前11時 (緊急および予約されている方はこの限りではありません)
- ◆休診日 …………… 土曜・日曜・祝日 年末年始(12月29日~1月3日) 日本赤十字社創立記念日(5月1日)
- ◆セカンドオピニオン …… 詳しくは患者相談室までお問い合わせください。
- ◆専門外来 …………… 患者相談室 電話052-485-3503(直通)

お問い合わせ先 **052-481-5111** (代表)



当院は、病院敷地内全面禁煙です。ご理解とご協力をお願いいたします。

人間ドックのご案内

年に一度の健康管理をしてみませんか?

- ◆健康管理センター …… 電話にてお問い合わせください(予約制です)
- ◆受付時間 …………… 月~金曜日(休診日を除く)午前8時50分~午後5時20分 電話052-471-3855(直通)

休診情報はホームページでご覧いただけます。

<https://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/>

TOP » 診療科部門 » 休診情報



名古屋第一赤十字病院

日本赤十字社

〒453-8511 名古屋市中村区道下町3丁目35番地
TEL.052-481-5111(代表) FAX.052-482-7733
<https://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/>

理念

皆さまとの出会いを一期のことと心得、その痛みを分かちあい、苦しみを共にしつつ、一日も早く健康の幸せを喜びあえるよう努めます。

基本方針

- 1 皆さまが安心できる癒しの森といたします。
- 2 高度・良質で安全な医療をいたします。
- 3 災害救護活動を積極的にいたします。
- 4 周産期・小児及び救急医療を充実します。
- 5 医療連携を密にして地域完結型の医療を目指します。
- 6 職員の教育・研修を推進します。
- 7 健全経営を維持するように努めます。

臨床研修の理念

医療に必要な不可欠な知識や技術の習得により、いかなる状況下でも人間の命と健康、尊厳を守る能力を身につけることを目的とする。名古屋西部という都市部における社会構造・高齢化など地域にとって必要な医療を理解し、在宅医療などの社会医療サービスとの連携をはかり、地域医療貢献の修得を目的とする。